

中信高校山岳部かわらばん

編集責任者 大西 浩

大町岳陽高等学校

この1ヶ月の大町岳陽高校山岳部

4月に新入部員が男子8人、女子6人合計14人入ってきた。空前の新入部員にとまどったのは、生徒も顧問も同じ。一体何が起こったのかと嬉しい悲鳴をあげている。しかし、現実問題として、2、3年生11人とあわせて25人を引率するとなると問題は山積。現地までの移動手段の確保、装備の調達、そして何より一番の問題点はリスク管理の問題である。その点では、根本から見直さねばならない点も出てくる。学校内の顧問の体制が、今年度から4名と厚いものとなったことは救いであるが、2名の顧問は他のクラブとの掛け持ちでもあり、実際にそれを機能させていくには、いくつかのハードルがある。

しかし、数は力！校内でも一定の勢力となり、発言力も得て、クラブ活動そのものが活性化するのは嬉しいことには違いない。クラブ結成以来、週末は生徒と一緒に山にはいり、平日は計画書を作ったりして山三昧の日が続いている。新校となり、その新1学年の担任でかつ学年主任となり、忙しさは半端ではないが、充実感を持ちながら忙しさを楽しんでいる。

4月1（金）、2日（土）は前号のかわらばん（ずいぶん前に発行した）で書いた通り、乗鞍へ。16日（土）は新入生も交えながら鷹狩山で体力錬成訓練、23、24の土日は恒例の歓迎焼き肉ガッ合宿と鍬ノ峰登山。5月1日（日）は県大会の第1回下見で美ヶ原へ行き、5日は広島県の西部先生に誘われ乗鞍で山スキー、7（土）、8（日）の両日はこれまた下見で生徒と美ヶ原へはいった。その後も14（土）、15（日）は山岳センターの高校登山研修会で針ノ木へ。元気な生徒たちに後押しされてエネルギーをもらっている。加えて今年度は県大会の審査員長の任もまわってきて、そちらも手一杯。かてて加えて今年度は北信越国体の当番県が長野県。前回担当した5年前も理事長をしていたのだが、そのときは大会中に海外遠征をしていたこともあって、こちらの仕事は敵前逃亡。今回は競技委員長として仕切らねばならず、こちらも県と開催地の小谷村、北信越各県との調整でてんでこ舞い。今週はテスト直前ということで山は休んだが、その国体の北信越5県の代表者会議の取り仕切り。その合間にテストも作成して、明日からは教育実習生の指導もせねば・・・と、身体がいくつあっても足りない。

そんなわけで山へは行っているのだが、諸事雑務におわれて「かわらばん」が滞ってしまった。読者の何人かから、最近「かわらばん」が出ていませんが、とご心配のメールをいただいた。そこでここ1ヶ月の山を写真で紹介することでご容赦いただきたい。



4.16 クラブ結成式翌日 鷹狩山



4.22 新入生歓迎焼き肉



5.01 新入生歓迎山行 鍬ノ峰。前日の焼き肉と歓迎の洗礼で食いすぎ、睡眠不足の一年生には厳しい山行だった。

5.01 装備のそろった1年生も含め、県大会の下見に美ヶ原へ。美しい塔の前でパチリ！山岳部歌は王ヶ鼻で歌った。

編集子のひとりごと

残念なことに、今年の連休もまた遭難事故のニュースが巷を賑わせた。4月中旬の初夏を思わせるような陽気が一転、連休前には寒気の入り込みがあり、北アルプスの山ではかなりの積雪もあった。冷え込みにより、雪渓は予想以上に硬くなり、遭難した登山者には厳しい春山となった。

連休最終日に小生も乗鞍で山スキーを楽しんだが、2500m以上はやはりこの時期としてはかなり雪は硬く、アイゼンを持たないスノーボーダーなどには、歯が立たない状態であった。連休中の遭難の多さを、毎年のことながらと書くのは本当に辛い。山に親しむ人が増えることそのこと自体は嬉しいことではある。しかし、北アルプスの3000mに登るに足る技術と精神力を持ち合わせていない登山者が今や平気で雪山に踏み込んでいる現状には、なんとかしなければという気持ちを強く持つ。そこは一步間違えば、真冬の世界に早変わり、僅かな夏山経験のみで対応できる世界ではない。

今や、情報はあふれ、様々な人が勝手に情報発信し、受け手はそれをどこの誰とも、またその人の技量も知らないまま、自分でも経験できると思いこむ。しかし、そこに繰り広げられる世界は自分ではない他人が経験し世界であり、自分にとってはあくまでバーチャルな世界である。他人の経験をPCで追体験したことを、あたかも自分が経験したかのような気になってはならない。それは単なる錯覚であると知るべきである。そこには風速数十mの風も氷点下の冷え込みもない。もし仮に無事に帰って来られたとしてもそれは、幸運であったと謙虚にこそなれ、驕ったり誇った

りすべきではない。(大西 記)



5.07 1年生は装備の買い出し。この日は2、3年生の身で県大会の下見。広小場はオオヤマザクラが満開だった。



5.14-15 山岳センター針ノ木高校生研修会 テン場は賑やか。雪のテーブルで女子の面々は大満悦。2日目、下級生は下部で雪訓。上級生は針ノ木峠まで行って槍を拝む。